

「7つのメッセージ」について読み解く

「幼児期までの」「子どもの育ちに係る基本的なビジョン」

第2回

羅針盤としての 5つのビジョン・2、3 を読み解く

2023年12月、こども家庭庁は「こどももみんなな社会」を実現するために、すべての人に共有したい理念や基本的な考え方を「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン」(はじめの100か月の育ちビジョン)としてまとめました。これは、生涯にわたる身体的・精神的・社会的なすべての面で幸せな状態を示すウェルビーイングの向上を目指しています。そのため5つのビジョンを示しました。

■羅針盤としての5つのビジョン

- 1 こどもの権利と尊厳を守る
- 2 「安心と挑戦の循環」を通じてこどものウェルビーイングを高める
- 3 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える

しよう

- 5 子ども同士の関わりが大切です
- 6 みんなで食べると美味しいんです
- 7 子どもは自然が大好きです

前回(2025年1月号)に続き、この「7つのメッセージ」へ託した思いや願いから、「育ちビジョン」で謳われる「5つのビジョン」を読み解いていきたいと思います。

『2』『安心と挑戦の循環』を通じて 子どものウェルビーイングを高める

ここでは「安心」できる環境の中で子どもが「遊び」を通してチャレンジし、学びを深め、ウェルビーイングを高めていくことが示されています。まさに、私たちが保育で行っている大切なことで、私たちはその大切なことを「7つのメッセージ」に託しています。

子どもが「安心」できるとはどのようなことでしょうか。それはまず第一に、基本的な生命の維持を支える食環境が充実していくことではないでしょうか。私たちは、その思いを「**みんなで食べる美味しいんです**」に込めました。

それはただ単に食べ物があり、食べられることではなく、周りの人と共感し、楽しみながら食べる環境が必要だということを表しています。そのような食環境は、人としても基本的で重要な環境であり、そういう環境があつてこ

- 4 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
- 5 こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す

この基本的なビジョンが示す子どものウェルビーイングの向上、そしてその先にある「こどもみんなな社会」の実現は、私たち全私保連が目指すところであり、保育運動「新しい時代は子どもから」では、私たちが伝えたい「7つのメッセージ」を発信しています。

■7つのメッセージ

- 1 子どもの思いを受け止めましょう
- 2 子どもの「遊び」を守りましょう
- 3 子ども自身に乗り越える力を育てましょう
- 4 子どもの「自分でやりたい」を大切にしま

その「安心」が感じられるのだと考えています。

次に、子どもにとって大切な遊び、生活する環境について「**子どもは自然が大好きです**」と表しました。子どもが自然に触れることは多くの意味を持ちます。虫や花など小さなものから大きな植物や地形などに不思議を感じ、興味を持つような自然環境は、子どもが安心して生活できて、多くを感じる場だと考えています。

そして安心できる環境の中で子どもは自ら環境に関わり、「〇〇をやってみよう」「こうしてみよう」など、いろんな思いを抱いていきます。「**子どもの思いを受け止めよう**」に示したような自らの意思を安心して表明できること、その思いが周りの人にしっかりと受け止められることで、子どもは「**子どもの『遊び』を守りましょう**」に記したような主体的な遊びを展開していきます。私たちがその「遊び」をしつかりと保障していくことで、多くのことを学んでいきます。その遊びの中で「**子ども同士の関わりが大切です**」に記したように、子ども同士で見習い、助け合い、配慮するなど、自らの意思で考え、工夫をしていく力を培っていきます。そのような遊びを通して「**子どもの『自分でやりたい』を大切にしましょう**」で表している「やってみよう」という思いを強くしていきます。まさに「挑戦」です。大人はこの子どもの「挑戦」を時には止めてしまうこともあるのではないで

しょうか。単に「危険だから」ということではなく、子ども自身がチャレンジし、乗り越えていく力を培っていくことが大切で、大人はそれを援助していくことが大切なのではないでしょうか。このことを表しているのが「**子ども自身に乗り越える力を育てましょう**」です。

子どもは安心できる環境や大人の援助によってさまざまなことに「挑戦」していきます。このような子どものチャレンジは新たな遊びを生み、さらに学びも深まっていきます。子どもたちはこれらの遊びを通して多くを学び、育っていくのだと思います。だからこそ、私たちはこの「7つのメッセージ」に込められた子どものことを大切にしていくことが大切なのだと思います。これらの学びが子どものウェルビーイングにつながるのではないのでしょうか。

「3 『子どもの誕生前』から切れ目なく育ちを支える」

妊娠期から小学校入学までのはじめの1000か月には、妊娠・出産・保育園などへの入園・小学校への入学など、いくつかの節目があります。そしてその支援には、これまで切れ目があったことも事実です。この切れ目をなくし、子どもの育ちを支えていくことが大切です。もちろん法的な問題も大きいとは思いますが、しかし一番大切なのは、子どもの育ちを、子どもにとっ

て大切なことを、すべての人が知ることであり、大切にするのだと考えています。だからこそ、私たちは「7つのメッセージ」を社会に発信して、すべての人に子どものことを知ってもらいたいと願っています。

また、「7つのメッセージ」は単に就学前の子どものことについて伝えていくわけではありません。小学校・中学校・高校・大学など、どんな年代であつても大切なのです。

あらゆる世代で、このことが実現できるような社会、それが切れ目なく育ちを支えることにつながるのではないかと考えています。

.....

こども まんなか

全私保連は、
「こどもまんなか応援サポーター」
宣言を行いました。



あおむし通信
<https://www.zenshihoren.or.jp/>



新しい時代は子どもから
<https://undou.zenshihoren.or.jp/>



全私保連
公式 YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/channel/UCy3LvUSg5wmwIXdAORkkJXA>



公益社団法人
全国私立保育連盟